複数の顔刺激の魅力判断における系列効果

○大濱知佳・小野史典

(山口大学)

キーワード：系列効果，意思決定，好悪判断

Sequential effect in attractiveness judgement of multiple faces

Chika OHAMA and Fuminori ONO

(Yamaguchi University)

Key Words: sequential effect, decision making, attractive judgment

目 的

人は順番に呈示された事物をどのように評価しているのだろうか？これまでの研究により，刺激に対し評定をする課題を行うと，個々の刺激に対する評価が，直前の評価が高いほど高く，低いほど低くなることが知られている。このような現象を「系列効果」と言う（Holland & Lockhead, 1968）。従来の系列効果の研究は，刺激を呈示するごとに評価をする手続きで行われてきた。しかしながら，社会のなかで重要な評価や判断が求められる時，常に個別に評価を行っているとは限らない。例えば，集団面接では，複数の人を見た後に振り返って評価をすることもある。

そこで本研究では，複数の刺激呈示の後に，振り返って評価をする場合にも系列効果が生じるのか否かを検討した。そのために，2枚の顔画像を連続呈示し，その後にそれぞれの顔画像に対する好意度を評価した。実験1では，1枚目から2枚目への影響といった，順行性の系列効果を調べ，実験2では，2枚目から1枚目への影響という，逆行性の系列効果を調べた。ここでは実験2の結果を紹介する。

方 法

実験参加者 大学生 18名（男性5名，女性13名）

刺激 10代から30代までの日本人男性45名の顔画像

手続き 実験は2段階構成で，前半を順位づけ段階，後半を印象評定段階とした。試行はすべてコンピュータディスプレイ上で行った。

順位づけ段階 印象評定段階で使用する誘因画像を選出するため，顔画像に順位をつける目的で行った。試行が始まると画面の左右に1枚ずつ顔画像が呈示され，実験参加者は感じる魅力の高い方を方向キーで選択した（Figure 1a）。55試行の順位付け段階の終了後に，各顔画像が選択された回数を集計し，11枚の顔画像に好意度の順位をつけた。

印象評定段階 2枚の顔画像を連続呈示した後に，それぞれの顔画像に対する好意度を評定した。呈示順序は1枚目が標的画像（30枚），2枚目が誘因画像（3枚）であった。標的画像は，全顔画像のうち順位付け段階で使用した11枚を除く34枚の中から無作為に選出した30枚とした。誘因画像は，

順位づけ段階の結果による，実験参加者ごとの最も好ましい顔（1位）と中程度の好ましさの顔（6位）と最も好ましくない顔（11位）の3種類を使用した。試行が始まると，画面中央に誘因画像が1000ms呈示され，その後同じ場所に連続して標的画像が1000ms呈示された。実験参加者は，2枚の画像呈示後，呈示された顔画像に対して1枚ずつ，9段階（1：嫌い～9：好き）で好意度を評価した（Figure 1b）。

結果と考察

印象評定段階の結果より，誘因画像の順位別に，標的画像に対する評定値の平均を算出した（Figure 2a, 2b）。標的画像の評定値について，分散分析を行った結果，有意な主効果が認められた（ $F(1, 16)=5.844, p<.01$ ）。多重比較の結果，誘因画像が順位づけ段階で1位であった顔画像が呈示された方が，11位の顔が呈示された場合よりも，標的画像に対する評定値が有意に低くなった（ $p<.05$ ）。この結果は，2枚連続で顔画像を見る場合，誘因画像が自分の好き（嫌い）な顔であった時，直前に見た標的画像をより嫌い（より好き）とバイアスされたことを意味する。すなわち，顔刺激を2枚連続呈示した後に顔の魅力の評価する場合，後に見た顔の印象が，その直前に見た顔の印象に影響を与え，さらにその影響は後に見た顔の印象と反対の方向に働くことが明らかになった。

本研究の結果を日常場面で考えると，重要な評価・判断場面であるオーディションや面接場面において，自分のパフォーマンスとは無関係な理由で有利又は不利な立場におかれる可能性が生じると考えられる。例えば，複数の候補者の採点をまとめて行う際，自分の後の候補者が高い（低い）評価であった場合，自分に対する採点が通常よりも低く（高く）なってしまうと考えられる。我々の仮説では，こうした複数の評価をまとめて行う際には，知覚プロセスによる対比効果と反応プロセスによる同化効果といった2段階のプロセスが存在すると仮定している。

引用文献

Holland, M. K., & Lockhead, G. R. (1968). Sequential effects in absolute judgements of lundness. *Perception and Psychophysics*, 3, 409-414.

Figure 1a. 順位づけ段階の流れ

Figure 1b. 印象評定段階の流れ

Figure 2a. 順位づけ段階の誘因画像の順位別の印象評定段階の誘因画像の平均評定値

Figure 2b. 順位づけ段階の誘因画像の順位別の印象評定段階の標的画像の平均評定値